

# 昭島市障害者（児）福祉ネットワーク

## 第11回 総会議案書

日時：2013年6月19日（水）19:00～21:00

会場：昭島市保健福祉センターあいぼっく 視聴覚室1階

### 〔総会次第〕

1. 開会挨拶
2. 議長選出
3. 書記・議事録署名人選出
4. 議事審議
5. 議長・書記解任
6. その他
  - ・ 平成24年度（2012年度）昭島市作業所等経営ネットワーク支援事業活動報告
  - ・ 部会、プロジェクト担当
7. 代表挨拶
8. 閉会

### 〔議 事〕

- I. 平成24年度（2012年度）活動報告
- II. 平成24年度（2012年度）決算報告
- III. 平成24年度（2012年度）監査報告
- IV. 平成25年度（2013年度）活動方針（案）
- V. 平成25年度（2013年度）予算（案）
- VI. その他

## I. 平成24年度（2012年度）活動報告

### ○活動方針に対する評価

#### 1. 24年度活動方針： みんなで作る全員参加のネットワーク

22年度に引き続き、会員個々の思い・意見を尊重し話し合えるネットワークにするために、会員が必ずグループに所属して活動を行っていきます。ガイドブック作りは25年3月完成を目指し編集を含め、より具体的な作業に取り組んでいきます。

##### <総括>

選挙制になり3年目にあたる24年度は、会員に「みんなで作る全員参加のネットワーク」の方針が浸透し、定例会、市・市議との懇談会などの出席率もよく、会員の積極的な参加が定着しました。ガイドブック作りは、25年3月完成には至りませんでした。具体的な作業が大きく進みました。各プロジェクトの担当になった会員も企画から当日の運営まで積極的に取り組みました。また平成24年度、25年度の昭島市からの委託事業である「作業所等経営ネットワーク事業」の工賃アップ部会は、7月から定例会を毎月行い、部会参加団体の就労系11団体が大変積極的に取り組みました。

#### 2. 24年度活動方針： 災害についてネットワークとして取り組む。

①昭島市障害福祉課・防災課との懇談会を行い、福祉避難所・二次避難所について話し合う機会を設ける。

##### <総括>

7月に昭島市障害福祉課・防災課との懇談会を行いました。目的を「①地域防災計画を知る②災害発生時に障害者がどんな困難に直面するかを、市の担当職員にもグループに入って頂き話し合い、市の担当課と情報共有する機会とする」としました。今回は課題を浮き彫りにするまでになりましたが、ネットの会員、市の担当課双方にとって災害時の障害者の困難さなどを情報共有できたことは大きな一歩となりました。

②市民に向けて災害に関した取り組みを行います。

##### <総括>

5月に、市民フォーラム「住みたい街 昭島を目指して～災害セーフティーネットを考える～」を行いました。前半で障害当事者からの災害時の不安や困り事などの発言を受け、後半では、市民の災害セーフティーネットをどう考えていくかを防災課・障害福祉課の課長にも出席して頂きパネルディスカッションで行いました。災害については、障害関係者だけでなく、市の担当課、市民とも協働で、継続して取り組む課題であることを共有しましたが、時間がなく意見交換は十分に行えませんでした。

#### 3. 24年度活動方針： 昭島市障害者自立支援推進協議会・地域支援会議への取り組み

①ネットワークから推薦している協議会委員や地域支援会議委員との連携を強化し、協議会の現状の把握・共有を行います。

##### <総括>

協議会や地域支援会議については、会員に傍聴を呼びかけ、また定例会で随時委員から報告しました。

②協議会が積極的に地域の課題に取り組む場となるよう働きかけます。

##### <総括>

9月に市に下記意見書を提出致しました。「協議会の本来あるべき組織（地域の課題を共有して解決していく会議体と障害福祉計画作成の会議体）に再編成すること、又その会議体に当事者や家族の参画を実現すること」。市からは前向きに検討するとの話がありました。

4. 24年度活動方針：「第3期昭島市障害福祉計画」への取り組み

「第3期昭島市障害福祉計画」の進捗状況を常に把握し、ネットワークとしての意見集約を行う。

<総括>

「第3期昭島市障害福祉計画」については、ネットワークとしての意見集約は行いませんでした。

5. 24年度活動方針：関係機関とのネットワークの構築

①懇談会の開催

昭島市・昭島市議会議員、その他様々な関係機関との懇談会を行う。

<総括>

昭島市・昭島市議会議員との懇談会を例年通り今年も開催致しました。

②あきしま地域福祉ネットワークとの連携

地域の障害者の課題を解決するためには、昭島市の高齢者関係団体が所属する「あきしま地域福祉ネットワーク」とも連携を進めます。

<総括>

ネットワークとしては取り組めませんでしたが、10月に、介護保険居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）の定例会で、障害福祉係長と相談支援事業所が出席して相談支援機関の紹介、サービス利用計画作成について説明を行いました。また1月に、「あきしま地域福祉ネットワーク」全体会で、障害福祉係長が障害者制度の説明を行い、代表が障害者の地域生活と昭島市の障害福祉サービスについて話しをしました。

6. 24年度活動方針：組織の再編成を行う

正会員・賛助会員のあり方を検討し、必要であれば規約の改正も行う。

<総括>

正会員・賛助会員のあり方については、他の優先順位の活動に時間を割かれ、検討する機会は設けられませんでした。

7. 24年度活動方針：「作業所等経営ネットワーク支援事業」について

「作業所等経営ネットワーク支援事業」の市からの受託について前向きに検討する。

必要なら部会を作る

<総括>

平成24年8月21日から、昭島市からネットワークに単年度契約で「昭島市作業所等経営ネットワーク支援事業」が委託されました。この委託事業を受けて「工賃アップ部会」を立ち上げ活動しました。

（詳細は別紙参照）

○活動について

1. 会員の入退会

24年度はアイアイケア、障害者就労プラザあいあいの2団体が新たに加入しました。

〔会員数〕平成25年5月1日現在 27団体

## 2. 会議の開催（定例会・役員会ほか）

### ① 定例会

1	9/19(水) 19:00～21:00 21 団体参加	1 報告・連絡事項 ①各プロジェクト報告 ②委託事業の進捗状況 2 検討事項 ①市長選の公開質問状の件 ②市への意見書提出の件（協議会を傍聴して）
2	12/19(水) 19:00～21:00 22 団体参加	1 市からの情報提供「障害者虐待防止法とサービス利用計画について」 ①法の現状②相談支援体制の変更③虐待防止法 2 報告・情報交換など 市議との懇談会(11月10日)まとめ、委託事業(工賃アップ部会)進捗状況、後見支援センター報告、学習会の準備状況、12月議会の傍聴
3	3/26(火) 19:00～21:00 21 団体参加	1 各委員会・プロジェクトの報告（19:00～19:45） 2 ネットワークについて* 3グループに分かれて

### ② 役員会

1	6月20日(水) 18:30～20:30	作業所等経営ネットワーク支援事業、市との懇談会準備
2	7月18日(水) 18:30～20:30	委託契約の件、9月定例会、自立支援推進協議会
3	8月22日(水) 18:30～20:30	委託契約、9月定例会、公開質問状、9月定例会
4	9月11日(火) 18:30～20:30	9月定例会、市への意見書、公開質問状、
5	10月24日(水) 18:30～20:30	市議との懇談会、市への意見書、12月定例会、HP進捗報告
6	11月21日(水) 18:30～20:30	懇談会振返り、12月定例会、学習会について
7	12月11日(月) 18:30～20:30	12月定例会、学習会
8	1月18日(水) 18:30～20:30	学習会、フォーラム、HP進捗報告、3月定例会
9	2月20日(水) 18:30～20:30	学習会、フォーラム、HP進捗報告、3月定例会、協議会
10	3月13日(水) 18:30～20:30	定例会、学習会、地域支援会議委員について、フォーラム
11	4月18日(水) 18:30～20:30	学習会振返り、フォーラム、総会、新規会員、工賃アップ部会
12	5月15日(水) 18:30～20:30	フォーラム振返り、総会について
13	6月5日(水) 18:30～20:30	総会について、昭島市地域防災計画説明会について

### ③ 臨時総会 9月19日(水) 出席 21 団体

内容：作業所等経営ネットワーク支援事業委託契約にともなう規約改正承認される。

## 3. 委員派遣

【昭島市障害者自立支援推進協議会】2名の委員派遣を行った。

渡辺 おりえ（虹のセンター25） 山本 あおひ（昭島生活実習所）

開催は、第1回を7月31日、第2回を3月19日の2回行った。

議題は、以下の通り。

第1回 ○委員の委嘱、会長副会長の選任

○第3期障害福祉計画について、第2期障害福祉計画見込みと実績

○昭島市地域支援会議について

○相談支援事業の改正点、障害者総合支援法の交付について

○作業所等経営ネットワーク支援事業について

第2回 ○昭島市地域支援会議活動報告について

○障害福祉計画に関するニーズ調査について

○障害者虐待防止センター業務の実施について

○障害者総合支援法の施行による障害者の範囲（難病等）について

今年度は、協議会委員が新体制となり（平成24年度～27年の3年間）、障害者ネットから山本あおひ（生活実習所）さん、渡辺おりえ（虹のセンター25）が推薦された。また障害者ネット関係者としては、公募市民とし、野島智美さん（支援を必要とする子の親の会）、深井葉子さん（昭島市身体障害者福祉協会）が委員となった。今年度は2回の開催ではあったが、委員からは活発な意見が出され、協議会の内容を充実させていこうとする雰囲気はできた。

第2回目の協議会では、平成24年度に地域支援会議が調査研究した「他市の地域自立支援協議会の状況」の報告に対して、事務局（障害福祉課）が平成25年に新たな組織体制をつくり国の示している地域自立支援協議会の役割が果たせるようにすると、回答したことは大きい成果であった。

#### 【地域支援会議】6名の委員派遣を行った

委員

昭島市地域支援会議委員		特別委員	
上田桂子	大きなかぶ	酒井 幸子	NPO法人 太陽と風
吉澤孝行	自立生活センター昭島	高橋 知子	在宅福祉サービスウイズ
渡辺おりえ	虹のセンター25	斎藤 国彦	昭島市社会福祉協議会
瀬戸本むつみ	ふらっと		
東條由美子	チャレンジドステーションジラ		
浅川勤	ゆいのもり福祉協会		

第3期の昭島市自立支援推進協議会、昭島市地域支援会議では第2期の調査・研究のまとめに基づき、新たな進捗状況の検証を今後の3年間で順次行っていきます。これに先立ち第1期、第2期の活動を踏まえ、より有効な地域支援会議のあり方を検討する目的で、近隣市の地域自立支援協議会の組織や活動を調査することにしました。時期としても平成24年4月に地域自立支援協議会は法定化され、設置や運営の活性化が求められています。さらに平成25年4月から障害者総合支援法が施行されますが、地域自立支援協議会の見直しも盛り込まれています。

#### (1) 調査・研究方法

開催期間 平成24年5月～平成25年3月

(聞き取り調査と研修)

① 平成24年8月1日 場所：日の出町役場会議室

聞き取り団体：日の出町障害者自立支援協議会

内容：自立協議会の現在までの経過 自立支援協議会の組織、活動、課題

② 平成24年8月6日 場所：武蔵野市役所会議室

聞き取り団体：武蔵野市障害者自立支援協議会

内容：自立協議会の現在までの経過 自立支援協議会の組織、活動、課題

③ 平成 25 年 1 月 25 日 場所立川市女性総合センター アイム

研修会参加：多摩地域自立支援協議会 交流会

内容：第 1 部 パネルディスカッション

「多摩地域の自立支援協議会の活性化」

～地域における障害者（児）福祉の充実のために、どのように取り組むのか～

第 2 部 地域自立支援協議会（グループワーク）

課題別グループ 専門部会活動：相談支援 子ども 権利擁護

（地域支援会議での論議）

①平成 24 年 6 月 27 日、②8 月 29 日、③9 月 26 日、④2 月 20 日 会場：市役所内会議室

(2) 課題

（地域自立支援協議会の位置づけ）

昭島市は障害者基本法に基づく「障害者プラン」と自立支援法に基づく「障害福祉計画」の 2 つを昭島市障害福祉計画として 1 つの計画にしている。平成 18 年昭島市は自立支援法が施行された直後、早い段階で条例設置により昭島市自立支援推進協議会を立ち上げている。昭島市障害者自立支援条例における昭島市自立支援推進協議会の目的は①障害福祉計画の策定に関する事項の調査審議、②相談支援事業の中立・公平性を確保するための当該事業の評価、となっている。

他市の地域自立支援協議会も役割を調べてみると、相談事業の支援と評価、社会資源の開発、障害福祉関係者の資質向上、個別支援会議から抽出されるニーズの課題化、障害関係者のネットワークの構築などが目的にあげられている。

他市では地域自立支援協議会とは別組織として、障害福祉計画の策定については計画策定委員会があり、地域自立支援協議会の意見を聞きながら地域の課題を障害者福祉計画に反映させている。

（組織運営）

昭島市は事務局を行政が担い、調査研究を行う機関として自立支援推進協議会の下に地域支援会議をもっている。どの市区町村でも立ち上げから長いところで 3 期目（6～7 年目）であり、地域の既存のネットワークを生かしながら試行錯誤で改善しているのが現状である。他市の組織運営を参考にしながら、昭島市の現状の組織やネットワークを生かしながら組織を検討した。（資料 1）

① 構成員・開催頻度

構成員は地域の学識経験者、事業者、医療・保険・福祉の関係機関、教育関係者、当事者、家族が主な構成員である。他にインクルーシブの視点から広く地域住民やボランティア団体等の参加を得ているところもみられた。障害者総合支援法においては当事者、家族の地域自立支援協議会への参加を義務づけている。

地域自立支援協議会は地域のネットワークの代表が集まっているので、多くの回数を設けて討議することは困難と思われる。見学先では、全体会は年 2～3 回の開催で、協議会の下に定例会を設け、定例会を年 6 回程度開催するなどして運営を工夫している。

② 運営協議会・事務局

事務局は行政が中心的に担っているところが多く、各会議の準備を行っている。運営協議会は地域自立支援協議会全体の運営・方向性を検討する重要な会議となる。調査した市・町や「多摩地域自立支援協議会交流会」の資料では、行政の他に地域の相談支援事業所や各事業者のコアなメンバーで運営協議会を構成しているところが多くみられた。

### ③ 専門部会

課題別にさらに論議を深める場として、現在の昭島市地域支援会議に当たる会議を協議会の下に複数の専門部会として設けているところが多い。専門部会はより多くの専門的な地域関係者が、年間を通して議論できるので有効と考えられる。各市で個性ある部会を設定しているが、主に「相談支援」・「暮らし」・「就労」・「権利擁護」・「こども」といった部会の設定が多い。昭島市においても既存の社会資源やネットワークの活用、昭島市地域支援会議の今までの調査活動のつながりの中で、各部会を立ち上げていくことは可能と考えられる。また、市の職員を各部会に入れ当事者や事業者と行政の顔の見える関係を築いたり、当事者が参画できるように当事者部会を設けるなど専門部会については各市・町でそれぞれに工夫がみられた。(資料2)

### ④ 個別支援会議

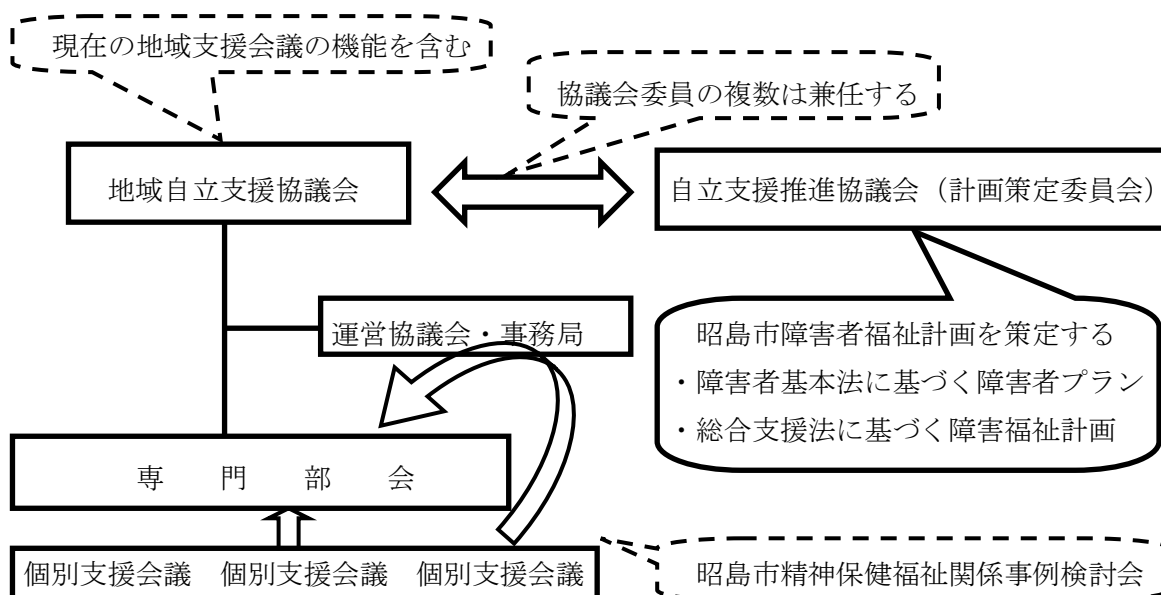
地域の課題を抽出するために個別支援会議をもうけている。個別のケースを一般化し地域の課題を明らかにしていくためのベースになる会議である。個別支援会議は相談支援部会が統括しているところもあるが、事務局で吸い上げて関係のある各専門部会に振り分けて検討し、協議会に提案報告するシステムをとっているところもある。

#### (障害福祉計画作成の組織と地域自立支援協議会について)

前記したとおり、他市区町村における地域自立支援協議会の活動内容は昭島市の自立支援推進協議会より多岐にわたっており、障害福祉計画を策定する会議体は地域自立支援協議会と分けて設置しているところが多い。そして、それらの市区町村は障害福祉計画を作成するにあたって、地域自立支援協議会に意見を聞くという形をとっている。障害者自立支援法の改正においても「市が障害福祉計画の策定・変更を行う場合は、あらかじめ地域自立支援協議会の意見を聞くように努めなくてはならない。」と定められている。地域の課題が部会で検討され、地域自立支援協議会でそれらの課題を確認し、施策提案されたものが障害福祉計画に有効に反映されていくように、障害福祉計画を作成する会議体の委員の一部が地域自立支援協議会の委員を兼ねているところもあった。

(資料1)

昭島市における新たな自立支援協議会組織のイメージ図 (各組織の名称は要検討)



## 専門部会

## 6. 昭島市肢体不自由児者父母の会、

部会名	既存の組織、会議体	構成員
働く	昭島市障害者(児)ネットワーク 工賃アップ部会 等	当事者・家族・昭島市障害者就労支援事業所・事業所 医療機関・学識経験者・商工会・ハローワーク 等
暮らす	障害者ホームヘルプ連絡会 等	当事者・家族・事業所・医療機関・民生委員・交通機関等
権利擁護	地域福祉・後見支援センターあき しま関係機関連絡会・地域包括 支援センター 等	当事者・家族・事業所・医療機関・学識経験者・警察等
相談支援	相談支援事業所連絡会・精神保健 福祉業務連絡会等	当事者・家族・昭島市障害者相談支援事業所・事業所 医療機関・学識経験者 等
こども	要保護児童対策協議会、特別支援 学級親の会、障害児の親の会 等	当事者・家族・事業所・医療機関・学識経験者・療育 教育関係者 等

【地域福祉・後見支援センター・あきしま関係機関連絡会】 1名派遣した。

派遣委員 早乙女 美千代(特定非営利活動法人 太陽と風)

第1回連絡会 日時：6月1日(金) 13:30～15:00 23年度事業報告 24年度事業計画説明 意見交換

第2回連絡会 日時：8月22日(水) 15:15～16:45 上半期事業報告

第3回連絡会 日時：11月19日(月) 13:30～15:00 学習会「高齢者虐待防止法について」

第4回連絡会 日時：平成25年3月25日(月) 13:30～15:00 意見交換「判断能力が低下した方の  
状況とその支援について」

## 4. 昭島市障害福祉課・防災課との懇談会 (役員担当)

日時：平成24年7月26日(木) 午後7時～9時

場所：昭島市保健福祉センターあいぼっく4階休養室・講習室

出席者：昭島市保健福祉部部長、障害福祉課課長・係長、防災課課長・主幹、会員

目的：①昭島市地域防災計画を知る機会とする

②災害(地震発生から7日間を想定)発生時に、障害がある方が、どういう困難なことに直面するかを出し合い、障害福祉課・防災課と、ネットワーク会員で情報共有し、今後作成する「避難所運営マニュアル」に活かす場とする。

<評価と課題>

第1部では、市防災課・障害福祉課から地域防災計画や避難所などの説明を受けました。第2部ではグループに分かれ、発災後7日間程度の心配事や必要なこと、課題をKJ法で取り上げていきました。自宅や避難所での配慮や衣食住・トイレ・医療・薬のこと、事業所で被災した場合のこと、障害特性によって配慮が必要な情報の取得の在り方など、様々なことが上げられました。アンケートでは、グループワークを行ったことへの良い評価が得られましたが、時間が不十分であったとの指摘もありました。また自分たちでの取り組みに合わせ、今後の行政の防災対策への期待も多く出されていました。

## 5. 昭島市議会議員の皆様との懇談会

担当団体：チャレンジドステーションジラ(東條) 障害者相談支援センター(諏訪) プラザあいあい(白石)



ふらっと（高橋由美）肢体不自由児者父母の会（出口）虹のセンター25（渡辺）昭島市聴覚障害者協会、昭島ひよこ教室

日時：2012年11月8日（木）19：00～21：00 場所：あいぼっく 4階 講習室・休養室

出席議員 8人 障害者ネット出席者：15団体、25人

#### 【内容】

- 1、開会あいさつ
- 2、昭島市議会議員の皆様をご紹介
- 3、障害者ネットの活動紹介
- 4、災害時の障害者支援について～避難所について考える～ 3つのグループに分かれて討議
- 5、まとめの発表
- 6、昭島市議会議員の皆様のご感想
- 7、終わりの挨拶

#### 【懇談会のまとめと今後の課題】

- 1、福祉避難所にあったら良いものを一覧表としてまとめた。
- 2、懇談会で出た意見を以下の9つにまとめた。
  - （1）福祉避難所マニュアルを行政と障害当事者、関係事業所と一緒に作成する必要がある。
  - （2）二次（福祉）避難所として「あいぼっく」の機能をチェックする必要がある。
  - （3）災害支援のためのリーダー養成、ボランティア養成
  - （4）障害者が地域の人とつながり助け合える日頃のネットワークをどう作っていくか。
  - （5）個人情報保護条例の問題の整理
  - （6）被災障害者の想定を行う。
  - （7）医療との連携、医療措置が必要な人
  - （8）福祉施設、民間住宅が避難場所として利用できるような協定を結ぶ。
  - （9）行政と一緒に障害者の災害時支援について話し合える定期的な協議の場を作る。
- 3、話し合いのまとめを行い、当日議員の意見としてもあったが、障害者ネットとしてどうまとめていくかは今後の検討課題である。
- 4、当日の内容が欠席された議員の皆さんにも伝わるようにと、お礼とともに、懇談会の報告を作成し、すべての昭島市議会議員の皆様にお渡しした。全会派の方へ懇談会に参加していただく工夫は今後の課題である。

## 6. ガイドブック作り

### （1）身体障害者

担当団体：昭島ひまわりの家（田嶋）、きさらぎの会（西川）、自立生活センター昭島（吉澤）、昭島市聴覚者協会（三原）、昭島市身体障害者福祉協会（深井）、ひよこ教室（岩本）、在宅福祉サービスウイズ（高橋）

内容：24年度は、ほぼ毎月、作成会議を行なってきた。話し合いの中で、掲載内容の表記の調整や、自立支援法に関する日中活動の部分についてなどを、毎回レジメを作らずに自由討議を行なった。

#### <評価と課題>

他の障害施策と比べて運動の歴史が長く、その成果もあり制度が多岐に渡る。また社会資源も先行している中で、ガイドブックに掲載する資料が多くなっている。特にインフォーマルの部分は、まだ潜在的なものが抜け落ちている可能性を自覚しつつ、編集作業を行なっている。会議を重ねる中で、障

害種別により異なる思いがあることを認識することで、お互いの立場を理解したうえで共通した思いを作る作業は、有意義なものとなっている。これから細かい編集作業に入っていくが、統一した表記やページの調整など新たな技術が必要になることと予想される。

## (2) 知的障害者

担当団体：昭島生活実習所（小島）、昭島ひよこ教室（五十嵐）、介助派遣事業みんなの広場（小林）在宅福祉サービスウイズ（長尾、高橋）、支援を必要とする子の親の会（宮寄）、ふらっと（瀬戸本）リサイクル洗びんセンター（祝）

内容：2010年9月から始まった会議も回数を重ね、2013年5月で22回となった。「立川市手をつなぐ親の会」発行のガイドブックを参考に昭島版として作成してきたが、2012年度は担当者が作成したものを一本化し、内容を再度確認しながら全体の構成を見直しコラムを入れたりした。現在は全体の体裁を整え、身体グループ事務局との打合せを行いながら障害福祉課に見てもらう準備を進めている。

### <評価と課題>

9会員でスタートしたが、現在は7会員が参加して会議を行なっている。それぞれが分担したことをしっかりおこなうことで全体の内容はできあがってきた。毎回、内容について、見やすく分かりやすくするための意見が出され、完成度があがってきている。目指していた25年3月では完成はできなかったが会議を継続し完成を目指す。

## 7. 学習会（役員担当）

日時：平成25年4月11日（木）18：30～20：30 市役所市民ホール 参加者数：85名

講師：野沢和弘氏（毎日新聞論説委員）

内容：「障害者虐待防止法と障害者差別禁止法」

### <評価と課題>

昭島市の後援を頂いての開催だった。今回は、市民向けではなく、関係者のみへの呼びかけだったが、会員だけでなく、市議会議員や市の関係者も参加した。

話が虐待防止法に終始し時間がなく差別禁止法まで聞くことが出来なかったのは残念であった。

## 8. 市民フォーラム

担当団体：ゆいのもり田中町（田中）、太陽と風（早乙女）、大きなかぶ（坂元）、みしょう（堀越）虹のセンター25（渡辺）、こまくさ工房（長尾）、あきしま福祉作業所（近）、にこにこ（川崎）、ぷうやんあしながくらぶ（野村）、社協（齋藤）

日時：2013年5月11日（土）13：00～15：20

場所：昭島市役所 市民ホール

主旨：東日本大震災から2年余り、私たちの災害に対する意識は高まってきたものの具体的な地域の災害対策は手探りを続けている。障害者の災害時支援を通じて市民の災害セーフティーネットを考えた。1部では、災害時に起きる障害者にとっての困りごとについて当事者からお話を伺い、いろいろな立場の方々ことを考えた。2部では、パネルディスカッションの中でセーフティーネットとはどんなものなのか、それをどう作っていくのかを考えた。参加者数 70名

### <評価と課題>

いろいろな立場の方の発言を聴くことができたものの、意見のやり取りはできなかった。まとめとして関係団体との連携が必要であることが確認された。

### 9. ホームページ開設に向けた検討

担当団体：昭島ひまわりの家（田嶋）、リクル洗びんセンター（尾崎）、社協（齋藤）

工賃アップ検討部会でのホームページ開設に合わせてネットワークのホームページも作成することとなり、工賃アップ検討部会の担当者と役員が委員会を立ち上げ検討し、随時会員に進捗を報告した。

### 10. 精神障害部会

担当団体：障害者相談支援センター、虹のセンター25、自立生活センター・昭島、大きなかぶ高月病院・クリニック、ゆいのもり福祉協会、リクル洗びんセンター、太陽と風

分野	振り返り
退院促進	2月20日、3月7日の2回、高月病院による見学ツアーを行い、入院者、医療関係者の多数参加があった。両日とも、「たかつき第2クリニックデイケア」と「グループホーム太陽と風」は共通で見学した。通所施設は、1回目は「ゆいのもりつつじが丘」2回目は「食工房ゆいのもり」を見学し、併せて、ティータイムを楽しんだ。 4月4日は、高月病院で振り返りの会を開催し、ほぼ参加者全員で、今後の取組に向けて改善点等を建設的に話しあうことができた。
家族の集い	在勤在住の統合失調症の家族の会。現在登録家族は26家族。毎月1回開催。名称「アットホーム・歩歩（ぼぼ）」。2012年度は、近況報告と学習会が半々になるように実施した。
ガイドブック	休
ボランティア講座	休
交流	12月に1回開催
グループ・モモ	月2回実施。参加者なしの企画はなく、全体的に参加者は多かった。メンバーの入れ替えはあるが希望者は多い。ボランティアさんも毎回1名以上関わっている。プログラム内容は、室内ではゲーム、ぬりえ、外出ではカラオケ、みかん狩り、調理はそうめん流し、ケーキ作りなど。
講演会	2012年12月1日（土）あいぽっく（講習室）にて開催。20団体 46名。 講師には都立小児総合医療センター医師の田中哲先生をお迎えし、1部は「生活障害としての発達障害 - 包括的な理解にもとづく支援のために - 」をテーマとした講演会、2部を事例報告と先生からのコメントという構成で行った。昭島市の支援機関を対象にした学習会という想定の下、多くの障害者支援機関から参加を頂いた。

### 11. 市役所7階の展示物の充実

今年度は、現状を維持に努めた。

### 12. 議会の傍聴

担当表を作成し、さらに各会の責任団体も決めて傍聴を行った。3月市議会、厚生委員会と厚生委員協議会の傍聴を行い、担当者より報告があった。

### 13. 昭島市自立支援推進協議会の傍聴

時間帯が夜のためか、呼びかけ方が不足していたためか、傍聴者が少なかった。

Ⅱ. 平成24年度決算報告 及び Ⅲ. 監査報告

〈収入〉

単位:(円)

科目	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	備考
前年度繰越金	46,601	20,808	20,808	
団体会費	25,000	27,000	27,000	1000円×27団体
賛助会費	0	0	0	
雑収入	20,000	0	29,100	学習会資料代 300円×97名
合計	91,601	47,808	76,908	

〈支出〉

科目	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	備考
事務費	755	3,000	0	
通信費	0	2,000	0	
活動費	70,038	38,000	54,648	学習会 38,740円、フォーラム 15,068円、定例会 840円
予備費	0	4,808	0	
繰越金	20,808	0	22,260	
合計	91,601	47,808	76,908	

上記のとおり報告いたします。

平成24年度会計担当 祝 和子  
(リサイクル洗びんセンター)

監査の結果、間違いのないことを認めます。

監査 \_\_\_\_\_

\*6月10日に監査を受けています。(会計監査：ひよこ教室岩本さん)

## IV. 平成 25 年度（2013 年度）活動方針案・活動計画案

### <活動方針>

1. 「みんなで作る全員参加のネットワーク」を引き続き行います。  
会員個々の思い・意見を尊重し話し合えるネットワークにするために、会員が必ずグループに所属して主体的に活動を行っていきます。定例会・各懇談会・学習会・市民フォーラムなどへの積極的な参加を呼びかけ、所属したグループやプロジェクトでは企画・運営・まとめまで会員が関わるようにします。
2. 災害についてネットワークとして取り組みます。  
昭島市障害福祉課・防災課・市民と連携をとりながら障害者の防災対策をより良いものにしていきます。
3. 昭島市障害者自立支援推進協議会・地域支援会議への取り組み
  - ①ネットワークから推薦している協議会委員や地域支援会議委員との連携を強化し、協議会の現状の把握・共有を行います。
  - ②協議会が積極的に地域の課題に取り組む場となるよう働きかけます。
4. 「第 3 期昭島市障害福祉計画」への取り組み  
「第 3 期昭島市障害福祉計画」の進捗状況を常に把握していきます。
5. 関係機関とのネットワークの構築
  - ①懇談会の開催  
昭島市障害福祉課・昭島市議会議員、その他様々な関係機関との懇談会を行う。
  - ②あきしま地域福祉ネットワークとの連携  
地域の障害者の課題を解決するためには、昭島市の高齢者関係団体が所属する「あきしま地域福祉ネットワーク」とも連携を進めます。
6. 「作業所等経営ネットワーク支援事業」について  
「作業所等経営ネットワーク支援事業」の市からの受託を引き続き行います。
7. ホームページを開設し随時更新を行う。
8. 平成 26・27 年度役員選挙管理委員会設置を行う  
平成 26 年度・27 年度の役員を選出するために選挙管理規定に基づき選挙管理委員会を設ける。構成員はネットワーク事務局員の 4 名と会員代表者 1 名を選出し主たる活動期間は 1 月から 3 月とする。

<活動計画>

○役員担当

1. 総会：年1回
2. 例会：年3回（9月・12月・3月）
3. 障害福祉課との懇談会
4. 防災課の「地域防災計画」説明会
5. 選挙管理委員会

○会員参加の部会やプロジェクト

1. ガイドブック作り                      身体障害者用                      知的障害者用
2. 市議会議員との懇談会
3. フォーラムの開催
4. 学習会の開催
5. 市議会・自立支援推進協議会などの傍聴

○部会活動（精神障害部会）

退院促進事業、家族の集い、ガイドブック（見直し）、ボランティア講座、交流、グループ・モモは例年通り実施予定

新たに発達障害（成人期を対象）についての分野を作り、発達障害についての理解を深めていく学習会を計画予定

○ホームページの更新

1. 委員の派遣

	委 員		
昭島市障害者自立支援推進協議会	渡辺 おりえ (虹のセンター25)	山本 あおひ (昭島生活実習所)	
地域支援会議	諏訪 潤 (障害者相談支援センター)	渡辺 おりえ (虹のセンター25)	東條 由美子 (チャレンジドステーションジラ)
	宮寄 明美 (支援を必要とする子の親の会 育成会昭島支部)	吉澤 孝行 (自立生活センター・昭島)	嶋田 敦子 (ゆいのもり福祉協会)
後見支援センター 関係機関連絡会	早乙女 美千代さん (太陽と風)		

2. 傍聴（自立支援推進協議会・議会）昭島市議会・厚生委員会傍聴 当番表

	会議	傍聴団体	担当役員
9月	厚生委員会	肢体不自由児父母の会、グループホーム太陽と風、大 きなかぶ、チャレンジドステーションぐら、あいあい	虹のセンター25 自立生活センター昭島
12月	厚生委員会	こまくさ工房、障害者相談支援センター、にこにこ、 きさらぎの会、昭島生活実習所	リクル洗びんセンター 昭島社協
3月	厚生委員会	ひまわりの家、あきしま福祉作業所、ぷーやんあしな がくらぶ、みんなの広場、みしょう	ゆいのもり福祉協会 ふらっと
6月	厚生委員会	昭島市聴覚障害者協会、昭島市支援を必要としている 子の親の会、ひよこ教室、昭島市身体障害者福祉協会、 アイアイケア	ゆいのもり福祉協会 在宅福祉サービスウイズ

V. 平成25年度（2013年度）予算（案）

〈収入〉

単位：（円）

科目	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	備考
前年度繰越金	20,808	20,808	22,260	
団体会費	27,000	27,000	27,000	1000円×27団体
賛助会費	0	0	0	
雑収入	0	29,100	0	
合計	47,808	76,908	49,260	

〈支出〉

科目	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	備考
事務費	3,000	0	3,000	
通信費	2,000	0	2,000	
活動費	38,000	54,648	38,000	学習会20,000円、フォーラム18,000円
予備費	4,808	0	6,260	
繰越金	0	22,260	0	
合計	47,808	76,908	49,260	

## 6 その他

平成 24 年度（2012 年度）昭島市作業所等経営ネットワーク支援事業活動報告

担当団体：昭島ひまわりの家、こまくさ工房、あきしま福祉作業所、みしょう、食工房ゆいのもり  
ぷーやんあしながらぶ、ゆいのもりつつじが丘、障害者就労プラザあいあい、ゆいのもり田中町  
サイクル洗びんセンター

### 1. 活動報告

#### (1) 部会の開催

1	7/5(木)	課長・係長より事業の趣旨説明、各事業所の活動報告と交流、事業計画・予算の検討
2	8/6(月)	共同受注の開始…DMソリューションズの仕事がすでに受注しているあいあいと洗びんが他の事業所に仕事をまわしてみる、自主製品の販路拡大…各事業所の販売場所の交流
3	9/11(火)	共同受注の状況確認と今後の方向性、販路拡大について（イベント参加状況の交流、ブランド名の検討、販促グッズの検討）
4	10/19(金)	共同受注の状況、ブランド名の検討、販促グッズの作成、工賃アップ部会での獲得目標
5	11/21(水)	情報交換、ブランド名の検討、ホームページの内容検討、予算執行状況確認
6	12/17(月)	他区市町村の取り組み状況、ホームページの検討、予算執行状況確認、研修・学習会企画検討
7	1/23(水)	ホームページ内容検討、「あきしまある」のロゴデザイン検討、予算執行状況の確認、研修・学習会企画検討、モリタウンでの販売依頼
8	2/13(水)	ホームページ内容検討、モリタウンでの販売準備、研修・学習会企画検討、「あきしまある」のロゴデザイン検討
9	2/28(木)	ホームページ内容検討、モリタウンでの販売準備、研修・学習会企画検討、ロゴデザインを活用した販促グッズの検討
10	3/25(月)	ホームページ内容検討、モリタウンでの販売準備、研修・学習会企画検討、ロゴデザインを活用した販促グッズの検討、事業報告と決算見込み、事業計画と予算
11	4/16(火)	

#### (2) 共同受注の推進

- ・(株)ディーエムソリューションズ（八王子市）からのダイレクトメール作業を、就労プラザあいあいからゆいのもりつつじヶ丘、洗びんセンターから昭島ひまわりの家という組み合わせで、共同の取り組みを開始した。
- ・その他の会社からの情報や依頼があった場合は、部会の中で情報共有し検討していく。

#### (3) 工賃アップ部会のブランド名「あきしまある」の決定とロゴデザイン・販促グッズの作成

##### ①ブランド名を入れたロゴデザインの決定

- ・12月のネットワーク定例会で会員にデザイン募集を呼びかけ、5事業所54点の応募の中から、文字とキャラクター、6人の作品を選び、ロゴデザインを作成した。
- ・ホームページや販売促進のグッズに活用する。

##### ②販売促進グッズの作成

- ・ロゴデザインを活用し、各事業所の商品に貼るシール・ステッカー、紙袋、ビニール袋、のぼり、ユニフォーム（パーカー、Tシャツ、エプロン、帽子等）を作成中。



#### (4) ホームページの作成

障害者ネット本体と工賃アップ検討部会のホームページを一緒に作成する方向で検討してきた。工賃アップ検討部会として載せたい内容やデザイン・イメージカラーについても検討し、業者（キューピーあい）と打ち合わせを行いながら、作成をすすめてきた。

#### (5) 各事業所の備品購入等の検討（工賃アップに直接つながる設備投資）

ダイレクトメール等の下請け作業を効率的にすすめ、受注量を増やすため結束機、テープカッター、かご車、作業機を購入した。

#### (6) 商品製造技術研修や販売促進のための研修・学習会の検討

- ・商品の製造技術を高めるための実技研修
- ・狭いスペースでも効率よく作業できる方法のアドバイスをもらう
- ・購買層のデータ作成や販売促進のためのチラシ作成などの具体的なコンサルタント
- ・同様の作業をしている事業所の見学会
- ・福祉サービス事業所の経営に関する研修

以上、各事業所から出された要望を受け、株式会社 FVP（東京都から工賃アップ事業の委託を受けている会社）に研修とコンサルタントを依頼予定。

#### (7) 各事業所商品の販売促進

- ・昭島ひまわりの家のバザー…1月から月2回（第2、第4土曜日の10:00～14:00）
- ・モリタウンでの販売依頼…来年度、年2回程度モリタウンで販売を行うことができるように依頼中。

#### (8) 情報交換

毎回の部会で各事業所の活動状況を報告し交流してきた。

### 2. 事務局体制

- 事務局をリサイクル洗びんセンター内に置くことに決定。
- 11月中旬より、リサイクル洗びんセンターで非正規常勤職員を1名雇用。

平成24年度 昭島市作業所等経営ネットワーク支援事業決算書

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	備 考
委託料	5,780,000	5,780,000	
委託料	5,780,000	5,780,000	昭島市委託料
計	5,780,000	5,780,000	

※預金利子 349 円については、昭島市一般会計（諸収入・雑入）へ納入しました。

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	備 考
企画費	380,000	1,636,905	
学習会・見学会	80,000	33,500	会議費
販売促進グッズ作成費	0	1,603,405	ラベル・ユニフォーム等
イベント開催費	300,000	0	イベント開催
事務費	3,110,000	2,974,424	
消耗品費	1,000,000	322,907	事務用品等
印刷製本費	1,000,000	0	チラシ・ポスター等
広報費	800,000	1,495,200	ホームページ作成費
通信運搬費	300,000	33,167	電話代・切手代・送料等
備品購入費		1,108,950	結束機、テープカッター、机
手数料	10,000	14,200	印紙代・振込手数料等
コンサルタント業務委託費	1,890,000	1,138,391	
人件費	1,890,000	1,138,391	
研修会・コンサルタント料		0	
使用料	100,000	0	
使用賃借料	100,000	0	
予備費	300,000	30,280	ロゴデザイン採用賞品
計	5,780,000	5,780,000	

\*6月10日に監査を受けています。(会計監査：ひよこ教室岩本さん)

平成 25 年度 部会・プロジェクト担当調整表

団 体 名	24 年度担当団体	25 年度担当団体
ガイドブック 作成（身障）	昭島市肢体不自由児者父母の会、 昭島市聴覚障害者協会、昭島ひよこ教室 昭島ひまわりの家、きさらぎの会、自立 生活センター昭島、在宅福祉サービスウ イズ、昭島市身体障害者福祉協会	
ガイドブック 作成（知的）	在宅福祉サービスウイズ、ふらっと、リハ い洗びんセンター、昭島生活実習所、支 援を必要とする子の親の会、みんなの広 場福祉連絡協議会、ひよこ教室	
フォーラム	太陽と風、こまくさ工房、大きなかぶ ゆいのもり福祉協会、虹のセンター 25 あきしま福祉作業所、昭島市社会福祉協 議会、ベアーの家&ぷーやんあしながくら ぶ、にこにこ、みしょう	
学習会	役員会	
議員との懇談会	チャレンジドステーションガラ、ふらっと、虹のセ ンター 25、昭島市障害者相談支援セン ター、	